



羽中だより



目標 Keyword

安心感

寛容力

主体性

令和7年2月7日号

安心して学べる学級を築き、主体的に行動ができる羽中生

3学期になって保健体育科の授業でスキー学習に取り組みました。学年ごとに羽幌町民スキー場「びゅう」までバスで移動し、小グループに分かれて学習しました。

それぞれの授業は3回ほどしかありませんが、それでもグングンと上達する子が多く、学びの“吸収力”に驚かされました。いずれもスキー日和で(1年生の3回目は残念…)、

設備に恵まれた環境で学習ができることを本当にありがたいと感じています。

また、ご家庭には道具の準備や運搬にご協力いただき、誠に感謝しております。ありがとうございます。

なお、1年生は2月6日の臨休に伴い、3回目の授業は17日への延期を予定しています。当日の晴天を祈っています！

ゴメンなさい1年生…
集合写真がありませんでした。
ウラ面の別の話題で御勘弁を…。

ENJOY
SKIING

たった一言会話が あったかかった2年生

今年度のスキー授業で、学年の人数が多いということで2年生の指導のお手伝いをしました。かつて私は体育教師として、本校でもスキー授業を行っていたこともあり、懐かしい気持ちで参加しました。

私のグループのみならず、中学生はみんなスキー場やリフト乗車のマナーを守り、危険な滑り方をする子もなく、真面目にしっかりと学習に取り組んでいました。

印象的だった小さな出来事がありました。授業中、グレンデ内で降りてきた順に整列する際、先に並んでいた人のスキーに重なって突っ込んでしまい(よくある光景…)、2人ともバタバタと…。

「あーゴメン!」「大丈夫、大丈夫」このやり取りを目の当たりにして、実はほんわかとした気持ちになったのでした。

「大丈夫」ではなく、「おい〜!」とか「何やってんだ!」とか、冗談半分でもそのようなチクチクしたコトバを想像してしまった不純な私の心を、この2人の2年生の一言会話が寛容的にしてくれました。

ヒューヒューと冷たい風が吹いている日でしたが、明るくて、温かい気持ちになった羽幌町民スキー場での出来事でした。



登下校時における携帯・スマホの取り扱い

今年度の学校評価にて、保護者の方から「登下校の際の安全確保のためスマホの持参を認めてほしい」という声が多く寄せられました。

実は以前から『特別な事情がある限り認める』ということになっていたのですが、学校から全家庭にお知らせしていなかったため、この度、改めて別添文書にてご連絡した次第です。

「知らなかった」というお声は当然のことであり、周知が不十分であったことをお詫びいたします。大変申し訳ありませんでした。引き続き子どもたちの安全管理に心がけて参ります。そして、皆様のご理解とお子様へのご指導をお願いいたします。

なお、この件は子どもたちを信用しつつも、実は心配していることもあります。例えば、保護者からの連絡がなく勝手に持ち込んで授業に差し支えとか、登下校中に「歩きスマホ」や自転車運転中の「ながらスマホ」で事故に遭う(起こす)などのデメリットも頭をよぎるのです。さらに、万一、使用目的に反して事故を起こす、道路交通法に違反するなどがあれば、当然ながら学校でも指導しますが、お子さんの行動責任と共に保護者の管理責任も問われる場合もありますので、くれぐれもご承知おきください。

なお、この件に関して不明な点がございましたら、ご遠慮なくお問い合わせください。

【校長 西山】

1 年生**入学説明会****他者意識と先輩の自覚を
高める協働的な取組****新****もうすぐ
交代****旧****TAKOSMAN****3 年生****主体的・対話的で理想的な
学級での目標共有**

3 学期は先輩 & 卒業への準備期間

1 年 A 組担任の船木教諭は「中学生としての学級での生活に慣れてきたけど、これからは他者意識を大切にしておいて学校全体に目を向けてほしい。そこで今年は 1 年生に新入生の『入学説明会』の運営をさせてほしい。これによってあの子たちの先輩への自覚を高めさせたい!」という思いを抱き、これまでは教員主導だった説明会を子どもたちが行うことにしました。もちろん、はじめから上手にできるわけではなく、リハーサルで何度も失敗しました。課題だったのは、全体的に担当した役割の把握や、各場面での自分事としての意識が十分でなかったこと。

そこで、学級委員長の〇〇〇絆さんが、学級全体に「自分のすべきこと、できることをしっかりやろう!」というメッセージを発信したところ、みんなで急遽、直前にリハーサルをしようということになりました。

2 月 3 日、緊張しながらも練習どおりにできて成功裏で終了! 参加した 6 年生からは「不安が解消された」などの感想があったようです。船木教諭は「みんなガンバリました! この経験を生かして、良い先輩に育っていくことを期待しています!」と語ってくれました。



リハーサルで
綿密な打合せする
1 年生の皆さん



キンチョーの説明会



楽しいアイスブレイク

6 年生のお見送りの後、1 年生が体育館に再集合しました。船木教諭が前に立った途端、「やったー!」と、ガッツポーズをしながら喜ぶ 1 年生の皆さんの姿を後ろから眺めていました。大きな歓声を聴きながら、この行事に向けて、みんなで成功させよう! イイものを創り上げよう! 6 年生に喜んでもらおう! と力を合わせてガンバった熱意が伝わりました。この子たちが先輩として、3 年生と共に来年度の羽中を牽引していく姿が見えた一日でした!

「後輩たちにも、先生方にも、自分たちの卒業を惜しまれるようなラストを飾りたい!」(委員長 談)

3 年 A 組学級委員長の〇〇〇〇伸さんをはじめとした学級総務係(副委員長 & 役員)の〇〇〇麦さん、〇〇〇穂さん、〇〇〇太さん、〇〇斗さん、〇〇〇〇かさんらが、卒業までの過ごし方について、学級全体でのミーティングを企画して実施しました。

これについて委員長の〇〇〇さんは「いま 3 年生は、それぞれの進路に向けて取り組んでいるけど、教室では目線がバラバラなので、良い卒業式を迎えるためには、みんなが同じ目標に向かっていなければならないと感じました。」というお話をしてくれました。

みんなで相談した結果、生まれたキーワードが「TAKOSMAN (たこすまん)」。

TA 他己中 (自己中にならない)**K 危機感 (もっと向上しなければ!)****O 同じ方に向いて (目標を共有する)****S 習慣化 (目標を常に意識して過ごす)****M メリハリ (キチンと! と楽しく! の)****A 新しく (目標達成による新たな自分たち)****N 流されない (芯を強く "悪" に寄らない)**

卒業まで残すところ 1 か月あまりとなった 3 年生。いまの自分たちを振り返り、なりたい姿に見通しをもち、そのために何をすべきかをみんなで話し合い、それぞれが改めて動き出したところです。

「このこと、羽中だよりも載せるんだけど、最後に何かいろんな人に伝えたいことは?」(校長)

「みんながこの話し合いに真剣に参加し、誰ひとりとして別のことをしている人も違うことを考えている人もいなかったんです。このクラス、サイコー! と思いました! みなさん、卒業まで温かく見守ってください、応援よろしくお願いします!」(〇〇委員長)

私がこの取組を知ったのは 3 年生の学級通信からでした。その中で担任の加地教諭は「頷く顔、相談する声、たくさん黒板に並ぶキーワード、テキパキ動く総務達。廊下からこっそり、『ああ、こんなに自治できるんだ、すごいな』と本当に感動して見ておりました。」と述べていました。

ホントにそう思います。3 年生の皆さんは主体的に動き、仲間に寛容で、安心して何でも意見を言い合える集団になったんだなあ…と、とってもうれしく思ったのでした! (卒業しないであほしいなあ…)